

有用金属のリサイクル

障害者総合支援を推進する 就労支援事業が始まりました



自立就労支援事業内容

小型家電として収集される家電製品のうち、ビデオデッキや扇風機などには、電子基板、モーターの有用金属が多く含まれています。より良い有用金属の再資源化と障害者の就労・自立支援を推進するため、福祉施設・就労移行支援事業所等で分解・分類作業を行っています。

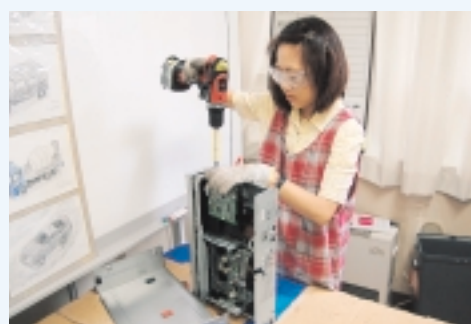


事業開始から約3ヶ月、分解処理台数は1000台を超えました。現場で担当されているみなさんに感想を聞きました。



毎週、目標の台数を決めて取り組んでいます。

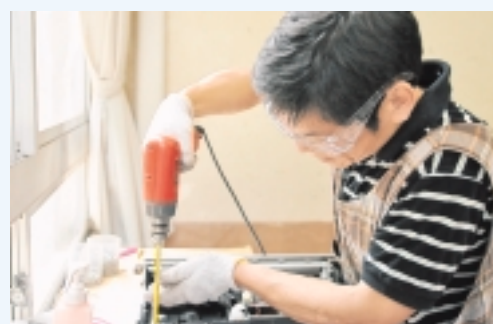
作業員 Mさん



最初は(作業に)時間がかかりましたが、ずいぶんはくなりました。時間がかかってもどこからはずせばとれるか考えるのが楽しいです。

仕事のできる喜びをかみしめています。

作業員 Kさん



集中力や観察力、判断力等、就労に必要な能力全般についての訓練になっています。

工具をつかいこなせるようになりました。

作業員 Fさん

初めの頃は色々と不安がありましたが、徐々に慣れてきました。その中でも電動ドライバーが一番使いやすいです。

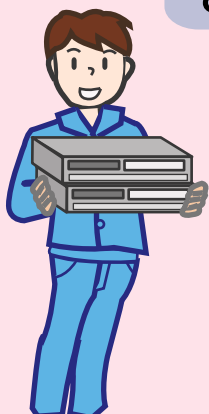
事故や怪我がないよう環境整備に努めています。

支援員 Bさん



軍手、腕カバー、ゴーグルを装着しながら行っています。この作業を通して、集中力や体力を身につけることができ、幅広い就労訓練に役立っています。

ごみ減量推進課



市内社会福祉法人”さくらの園 就労移行支援事業所カノン”との分解・分類処理事業では、解体品目にビデオデッキを選び処理していただいています。分解処理を行うに当たり、事前に分解方法、道具の使い方、資源物の品目等を説明して、分解技術の習得を支援しています。分解処理されたビデオデッキは、丁寧に資源物ごとに分別され、分解技術は日を追うごとに向上していて感心するばかりです。